



平成 22 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 8 月 11 日

上場会社名 株式会社 ヤマウラ 上場取引所 東・名
 コード番号 1780 URL <http://www.yamaura.co.jp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山浦 速夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 中島 光孝 (TEL) 0265-81-6070
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|------------------|--------|-----|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22 年 9 月期第 3 四半期 | 16,102 | 4.6 | 842 | 33.3 | 908 | 24.6 | 361 | △3.6 |
| 21 年 9 月期第 3 四半期 | 15,389 | — | 632 | — | 728 | — | 374 | — |

| | 1 株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益 |
|------------------|------------------|-------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22 年 9 月期第 3 四半期 | 17.68 | — |
| 21 年 9 月期第 3 四半期 | 18.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1 株当たり純資産 |
|------------------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22 年 9 月期第 3 四半期 | 15,050 | 9,055 | 60.2 | 443.22 |
| 21 年 9 月期 | 17,578 | 8,796 | 50.0 | 430.55 |

(参考) 自己資本 22 年 9 月期第 3 四半期 9,055 百万円 21 年 9 月期 8,796 百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|----------|----------|----------|------|------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21 年 9 月期 | — | 2.50 | — | 2.50 | 5.00 |
| 22 年 9 月期 | — | 2.50 | — | — | — |
| 22 年 9 月期(予想) | — | — | — | 2.50 | 5.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 22 年 9 月期の連結業績予想 (平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----|--------|------|------|------|------|------|-------|------|-----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 19,000 | △5.9 | 750 | 18.1 | 770 | 15.9 | 350 | 79.9 | 17.13 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 ー 社 除外 ー 社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年9月期3Q | 21,103,514株 | 21年9月期 | 21,103,514株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年9月期3Q | 673,142株 | 21年9月期 | 672,541株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 22年9月期3Q | 20,430,840株 | 21年9月期3Q | 20,431,134株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 【第3四半期連結累計期間】 | 7 |
| 【第3四半期連結会計期間】 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |
| 4. 補足情報 | 13 |
| (1) 生産、受注の状況 | 13 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計会計期間における我が国経済は、中国を始めとする新興国の経済成長や各国の財政出動による世界経済の回復基調を受けて輸出関連企業などの一部業種では景気回復の兆しが見られるものの、内需の力は弱く、個人消費の低迷が続いており、企業の収益環境や雇用環境を改善するまでには至らず、景気は依然として厳しい状況で推移しました。

建設業界は、公共工事の減少に加え、企業の国内拠点への設備投資は慎重な姿勢が続いたこと等から民間建設工事も回復は見られず、受注競争は一層激化し、経営環境は極めて厳しい状況が継続しております。

このような状況の中、顧客満足度の向上による「ヤマウラブランドの構築」に向け、建設事業・エンジニアリング事業・首都圏を中心とした開発事業のバランスの取れたセグメントを活かしての事業展開による収益確保と全社的に固定費削減及び業務効率化に努めた結果、連結売上高は **16,102** 百万円(前年同四半期比 **4.6%**増)、営業利益 **842** 百万円(前年同四半期比 **33.3%**増)、経常利益 **908** 百万円(前年同四半期比 **24.6%**増)となりました。四半期純利益は **361** 百万円 (前年同四半期比 **3.6%**減)となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

(建設事業)

建設事業につきましては医療介護分野・食品分野を中心とした景気に左右されない業種での売上を中心に、当第3四半期連結累計会計期間の売上高は **11,288** 百万円 (前年同四半期比 **5.9%**増)となりました。営業利益は **KAIZEN・IE** 活動を中心とした効率化と販売管理費の削減に努め、**752** 百万円 (前年同四半期比 **134.6%**増) となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましてはダム関連工事・大型精密製缶加工を主体として当第3四半期連結累計会計期間の売上高は **1,584** 百万円 (前年同四半期比 **11.2%**増)、営業利益 **253** 百万円 (前年同四半期比 **8.9%**減) となりました。

(開発事業等)

開発事業等につきましては首都圏でのマンション開発事業を主体として当第3四半期連結累計会計期間の売上高は **3,432** 百万円 (前年同四半期比 **5.7%**減)、営業利益 **272** 百万円 (前年同四半期比 **39.2%**減) となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、**2,528** 百万円減少の **15,050** 百万円であり、主な変動要因は販売用不動産の減少 **1,502** 百万円を主とした流動資産の減少 **2,317** 百万円及び固定資産の減少 **210** 百万円であります。

当第3四半期連結期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ **2,786** 百万円減少の **5,995** 百万円であり、主な変動要因は短期借入金の減少 **1,600** 百万円であります。

当第3四半期連結期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ **258** 百万円増加の **9,055** 百万円であり、自己資本比率は **60.2%**となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます)は、前年度末に比べ297百万円減少し1,310百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1,469百万円(前年同四半期は1,556百万円の減少)となりました。主な要因は未成工事受入金の減少1,488百万円の一方、税金等調整前当期純利益756百万円、販売用不動産の減少1,569百万円、未成工事支出金の減少895百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は64百万円(前年同四半期は358百万円の減少)となりました。これはエンジニアリング事業部における太陽光発電システム費用37百万円及び同事業部事務所の耐震設備費用16百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1,702百万円(前年同四半期は997百万円の増加)となりました。主な要因は、短期借入金の純減額1,600百万円及び配当金の支払額102百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に発表いたしました当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1、簡便な会計処理に関する事項

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計年度末の貸倒実績率が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計年度末のたな卸高の算出に関しましては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する

方法によっております。

④ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2、四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理

① 税金費用計算

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

会計処理基準の改正に伴う変更

①請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し第1四半期連結会計期間に着手した工事契約より、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積もりは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。これによる当第3四半期連結累計期間に係る完成工事高は1,261百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益はそれぞれ162百万円増加しております。

(表示方法の変更)

四半期連結貸借対照表関係

前第3四半期連結会計期において、流動負債の「引当金」に含めていた「訴訟損失引当金」は、資産総額の100分の1を超えたため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記することとしております。

なお、前第3四半期連結会計期間の流動負債の「引当金」に含まれる「訴訟損失引当金」は30百万円であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日) |
|----------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 1,320,251 | 1,617,361 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 1,825,676 | 1,360,394 |
| 販売用不動産 | 2,253,816 | 3,756,420 |
| 未成工事支出金 | 891,201 | 1,786,518 |
| 開発事業等支出金 | 1,559,378 | 1,071,413 |
| 材料貯蔵品 | 28,210 | 45,098 |
| その他のたな卸資産 | 2,999 | 3,444 |
| その他 | 651,537 | 1,036,334 |
| 貸倒引当金 | △209,008 | △35,206 |
| 流動資産合計 | 8,324,063 | 10,641,778 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物(純額) | 2,643,837 | 2,815,740 |
| 土地 | 1,651,878 | 1,833,957 |
| その他(純額) | 307,028 | 285,111 |
| 有形固定資産合計 | 4,602,744 | 4,934,809 |
| 無形固定資産 | 143,196 | 124,941 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,114,048 | 2,009,892 |
| 貸倒引当金 | △133,926 | △132,952 |
| 投資その他の資産合計 | 1,980,122 | 1,876,942 |
| 固定資産合計 | 6,726,064 | 6,936,692 |
| 資産合計 | 15,050,127 | 17,578,471 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 2,681,348 | 2,662,815 |
| 短期借入金 | 800,000 | 2,400,000 |
| 未払法人税等 | 314,816 | 171,173 |
| 未成工事受入金 | 762,074 | 2,250,655 |
| 訴訟損失引当金 | 252,496 | 252,496 |
| 引当金 | 517,093 | 224,657 |
| その他 | 266,294 | 414,507 |
| 流動負債合計 | 5,594,123 | 8,376,305 |
| 固定負債 | | |
| 長期末払金 | 192,448 | 192,448 |
| その他 | 208,437 | 213,062 |
| 固定負債合計 | 400,886 | 405,510 |
| 負債合計 | 5,995,009 | 8,781,816 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,888,492 | 2,888,492 |
| 資本剰余金 | 1,995,602 | 1,995,602 |
| 利益剰余金 | 4,350,591 | 4,091,630 |
| 自己株式 | △197,191 | △197,075 |
| 株主資本合計 | 9,037,494 | 8,778,649 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17,622 | 18,004 |
| 評価・換算差額等合計 | 17,622 | 18,004 |
| 純資産合計 | 9,055,117 | 8,796,654 |
| 負債純資産合計 | 15,050,127 | 17,578,471 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 11,754,024 | 12,674,882 |
| 開発事業等売上高 | 3,635,910 | 3,427,907 |
| 売上高合計 | 15,389,934 | 16,102,790 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 10,231,448 | 10,809,073 |
| 開発事業等売上原価 | 2,969,899 | 2,827,892 |
| 売上原価合計 | 13,201,348 | 13,636,965 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 1,522,575 | 1,865,809 |
| 開発事業等総利益 | 666,010 | 600,015 |
| 売上総利益合計 | 2,188,586 | 2,465,824 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,556,563 | 1,623,602 |
| 営業利益 | 632,022 | 842,222 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13,292 | 48,375 |
| 受取配当金 | 8,545 | 9,376 |
| 受取和解金 | 4,100 | — |
| 違約金収入 | 67,066 | 1,179 |
| その他 | 19,106 | 18,905 |
| 営業外収益合計 | 112,110 | 77,837 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,926 | 6,693 |
| 保険解約損 | 1,498 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 4,131 |
| その他 | 5,065 | 1,054 |
| 営業外費用合計 | 15,490 | 11,879 |
| 経常利益 | 728,641 | 908,180 |
| 特別利益 | | |
| 賞与引当金戻入額 | 46,235 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 26,392 | 869 |
| 固定資産売却益 | — | 40,041 |
| その他 | 1,100 | 12,941 |
| 特別利益合計 | 73,727 | 53,851 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 60,421 | 184,851 |
| 店舗閉鎖損失 | 15,771 | — |
| 固定資産除却損 | 31,017 | 17,099 |
| その他 | — | 3,229 |
| 特別損失合計 | 107,211 | 205,180 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 695,158 | 756,851 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 302,156 | 395,731 |
| 過年度法人税等 | 18,434 | — |
| 四半期純利益 | 374,567 | 361,120 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 3,084,788 | 4,455,435 |
| 開発事業等売上高 | 1,575,080 | 1,187,666 |
| 売上高合計 | 4,659,869 | 5,643,102 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 2,722,894 | 3,951,951 |
| 開発事業等売上原価 | 1,241,028 | 1,027,765 |
| 売上原価合計 | 3,963,923 | 4,979,717 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 361,893 | 503,483 |
| 開発事業等総利益 | 334,051 | 159,901 |
| 売上総利益合計 | 695,945 | 663,385 |
| 販売費及び一般管理費 | 483,526 | 501,337 |
| 営業利益 | 212,419 | 162,047 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,284 | 23,827 |
| 受取配当金 | 5,332 | 6,449 |
| 違約金収入 | 1,066 | 1,179 |
| その他 | 3,666 | 10,459 |
| 営業外収益合計 | 14,349 | 41,916 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,802 | 146 |
| その他 | 1,666 | △2,517 |
| 営業外費用合計 | 3,468 | △2,370 |
| 経常利益 | 223,300 | 206,334 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 7,234 | △7,019 |
| 固定資産売却益 | — | 28,582 |
| その他 | 238 | △6,094 |
| 特別利益合計 | 7,472 | 15,468 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | △82,169 | 126 |
| 固定資産除却損 | 14,842 | 1,643 |
| 特別損失合計 | △67,326 | 1,770 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 298,098 | 220,032 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 128,953 | 90,616 |
| 四半期純利益 | 169,145 | 129,416 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 695,158 | 756,851 |
| 減価償却費 | 164,480 | 165,692 |
| 減損損失 | 60,421 | 184,851 |
| 引当金の増減額 (△は減少) | △111,020 | 469,665 |
| 貸倒引当金戻入額 | △26,392 | △870 |
| 賞与引当金戻入額 | △46,235 | — |
| 完成工事補償引当金の増減額 (△は減少) | △714 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △21,837 | △57,752 |
| 支払利息 | 8,926 | 6,693 |
| 投資有価証券売却及び評価損益 (△は益) | — | △7,903 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | — | △38,248 |
| その他の特別損益 (△は益) | △386 | △3,601 |
| 店舗閉鎖損失 | 15,771 | — |
| 固定資産除却損 | 31,017 | 17,099 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,892,100 | △465,281 |
| 未成工事支出金の増減額 (△は増加) | 54,632 | 895,316 |
| 販売用不動産の増減額 (△は増加) | 380,850 | 1,569,652 |
| その他のたな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,418,133 | △470,631 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △4,352,723 | 18,532 |
| 未成工事受入金の増減額 (△は減少) | 182,601 | △1,488,581 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 7,160 | 31,598 |
| 営業貸付金の増減額 (△は増加) | △371,234 | 163,861 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 219,905 | 124,804 |
| その他 | 391,877 | △186,749 |
| 小計 | △1,243,776 | 1,684,998 |
| 利息及び配当金の受取額 | 21,837 | 57,752 |
| 利息の支払額 | △8,926 | △6,693 |
| 法人税等の支払額 | △325,765 | △266,706 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,556,630 | 1,469,351 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 25,060 | 32 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △334,853 | △109,100 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,000 | 65,149 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △10,670 | △36,278 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △40,416 | △1,461 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 150 | 17,500 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △358,729 | △64,158 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 1,100,000 | 1,400,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △3,000,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △92 | △116 |
| 配当金の支払額 | △102,156 | △102,154 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 997,752 | △1,702,270 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △917,607 | △297,077 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,440,371 | 1,607,260 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,522,764 | 1,310,183 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

| | 建設事業 (千円) | エンジニアリ ング事業 (千円) | 開発事業等 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|--------------|------------------------|---------------|-----------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 2,718,284 | 366,503 | 1,575,080 | 4,659,869 | — | 4,659,869 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 1,500 | 1,500 | △1,500 | — |
| 計 | 2,718,284 | 366,503 | 1,576,580 | 4,661,369 | △1,500 | 4,659,869 |
| 営業利益 | 123,578 | 61,140 | 277,548 | 462,267 | △249,847 | 212,419 |

当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

| | 建設事業 (千円) | エンジニアリ ング事業 (千円) | 開発事業等 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|--------------|------------------------|---------------|-----------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 4,138,396 | 317,039 | 1,187,666 | 5,643,102 | — | 5,643,102 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 1,500 | 1,500 | △1,500 | — |
| 計 | 4,138,396 | 317,039 | 1,189,166 | 5,644,602 | △1,500 | 5,643,102 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 232,540 | △13,483 | 95,065 | 314,122 | △152,075 | 162,047 |

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

| | 建設事業 (千円) | エンジニアリ ング事業 (千円) | 開発事業等 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|--------------|------------------------|---------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 10,328,578 | 1,425,445 | 3,635,910 | 15,389,934 | — | 15,389,934 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 328,573 | — | 4,500 | 333,073 | △333,073 | — |
| 計 | 10,657,151 | 1,425,445 | 3,640,410 | 15,723,008 | △333,073 | 15,389,934 |
| 営業利益 | 320,645 | 277,737 | 448,533 | 1,046,916 | △414,893 | 632,022 |

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

| | 建設事業 (千円) | エンジニアリ ング事業 (千円) | 開発事業等 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|--------------------------|--------------|------------------------|---------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 11,090,383 | 1,584,499 | 3,427,907 | 16,102,790 | — | 16,102,790 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 198,496 | — | 4,500 | 202,996 | △202,996 | — |
| 計 | 11,288,879 | 1,584,499 | 3,432,407 | 16,305,786 | △202,996 | 16,102,790 |
| 営業利益 | 752,239 | 253,019 | 272,754 | 1,278,014 | △435,792 | 842,222 |

(注) 1 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業の内容

① 事業区分の方法

当連結グループの事業区分は、内部管理上採用している建設事業(建築・土木)、エンジニアリング事業及び開発事業等に区分しています。

② 各区分に属する主要な事業の内容

| 事業区分 | 主要製品 |
|------------|---|
| 建設事業 | 建築・土木・舗装工事の設計及び施工 |
| エンジニアリング事業 | 橋梁・電気通信・水圧鉄管工事等の設計及び施工、エコ関連商品(汚泥減量装置等)の製作及び販売 |
| 開発事業等 | 不動産売買及び賃貸、分譲マンション事業、飲食関連 |

2 会計処理方法の変更

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号平成19年12月27日)を適用しております。これにより、建設事業で、売上高は1,261,719千円、営業利益は162,291千円それぞれ増加しております

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な支店がないため、記載をしておりません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注の状況 (平成21年10月1日～平成22年6月30日)

| 個別受注実績 | | (百万円未満切り捨て) | |
|---------------|--|-------------|--------|
| | | 受注高 | |
| 平成22年9月期第3四半期 | | 10,565百万円 | △8.5% |
| 平成21年9月期第3四半期 | | 11,544百万円 | △18.5% |

(注) ① 受注高は、当該四半期までの累計額

② パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考)受注実績内訳

(単位:百万円)

| 区分 | | 平成22年9月期 第3四半期 | 平成21年9月期 第3四半期 | 比較増減 | 増減率 (%) | |
|----------|----------|-------------------|-------------------|---------------|------------|--------|
| 建設 事業 | 建築 | 官公庁 | 1,551 (14.7) | 1,396 (12.1) | 155 | 11.1 |
| | | 民間 | 6,719 (63.6) | 5,944 (51.5) | 775 | 13.0 |
| | | 計 | 8,271 (78.3) | 7,340 (63.6) | 931 | 12.7 |
| | 土木 | 官公庁 | 941 (8.9) | 1,175 (10.2) | △ 234 | △ 19.9 |
| | | 民間 | 91 (0.9) | 201 (1.7) | △ 110 | △ 54.7 |
| | | 計 | 1,032 (9.8) | 1,376 (11.9) | △ 344 | △ 25.0 |
| | エンジニアリング | 官公庁 | 75 (0.7) | 618 (5.3) | △ 543 | △ 87.9 |
| | | 民間 | 865 (8.2) | 1,014 (8.8) | △ 149 | △ 14.7 |
| | | 計 | 940 (8.9) | 1,632 (14.1) | △ 692 | △ 42.4 |
| | 合計 | 官公庁 | 2,568 (24.3) | 3,189 (27.6) | △ 621 | △ 19.5 |
| | | 民間 | 7,676 (72.7) | 7,160 (62.0) | 516 | 7.2 |
| | | 計 | 10,244 (97.0) | 10,348 (89.6) | △ 104 | △ 1.0 |
| 開発事業等 | | 321 (3.0) | 1,196 (10.4) | △ 875 | △ 73.2 | |
| 合計 | | 10,565 (100.0) | 11,544 (100.0) | △ 979 | △ 8.5 | |

(注) ① ()内のパーセント表示は、構成比率

② 百万円未満は、切り捨てて表示してあります。

[個別受注実績に関する定性的情報等]

当該四半期の個別受注実績は上記のとおりであります。

受注実績は、10,565百万円(昨年同期比8.5%減)となりました。

当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は、特に発生しておりません。